

国土地院近畿地方測量部

平成22年度 近畿地方測量部業務計画

近畿地方測量部は、近畿地方における公共測量等に関する行政事務及び基本測量事業の実施により地域社会の発展に寄与する施策を実施しています。平成22年度は各種測量の基礎として必要な基準の維持管理及び国土の現況把握のため、測地基準点測量、電子国土基本図整備、国土調査基準点測量、測量標の維持管理等を行います。また、地方公共団体等における測量業務の効率化や測量成果の有効活用を促進するため、地方公共団体等の測量業務を担当する職員と測量に関する担当者会議を開催します。さらに、地理空間情報活用推進基本法の理念に基づき、基盤地図情報の整備や、電子国土webシステムの活用等から地域における地理空間情報の活用を推進します。

平成22年度の主な事業は次のとおりです。外注作業については作業地区と業務量を記しました。

1. 基準点関連業務

(1) 精密測地網測量

高精度な位置情報基準である施設の機能維持のため、以下の調査等を行います。

- ・電子基準点現地調査（外注：近畿1地区24点）
- ・電子基準点付属標取付及び験潮場維持管理

(2) 位置情報基盤整備

位置情報基盤である基準点の適切な維持管理を行うため、管内において基準点の現況調査、保全作業及び復旧測量を行います。

- ・三角点現況調査（外注：兵庫県西部地区50点）
- ・復旧測量（三角点、水準点）

(3) 国土調査関連業務

国土調査法に基づく国土調査のための基準

点測量を、管内の地方自治体からの要望に基づき実施します。

- ・地籍測量に伴う基準点測量
（外注：兵庫県豊岡地区他22地区84点）
- ・確定測量に伴う基準点測量
（外注：京都府南丹地区他4地区11点）
- ・基準点改測（外注：兵庫県神河地区14点）

2. 地図作成関連業務

(1) 電子国土基本図（地図情報）

基本情報調査により国土に関する最新の地理空間情報を収集するとともに基盤地図情報を利活用し電子国土基本図を整備します。

- ・基本情報調査
- ・登山道調査
- ・市区町村別面積（異動）調査
- ・即時修正測量

(2) 基盤地図情報整備

- ・基盤地図情報関連

3. 公共測量関連

- (1) 管内各府県測量担当者との連携
- (2) 公共測量実施計画の助言等
- (3) 公共測量の審査

4. 測量成果提供関連

- (1) 基本・公共測量成果等の謄本等交付
- (2) 基本測量成果の複製・使用承認

5. 防災関連

管内の国及び各府県の防災機関との連携を図りながら、災害時における速やかな状況把握及び迅速な災害対策用図等の防災地理情報の提供を行います。

6. 地理空間情報の活用等の推進

(1) 基盤地図情報整備・更新のための地域連携の取り組み

平成21年度に大阪地区において「基盤地図情報更新パイロット事業」を実施し、基盤地図情報整備指針の改定等の検討を行いました。平成22年度は昨年の検討を踏まえ、国土地理院と大阪府内の地方公共団体がお互いの役割を明確にする覚書を交わし、基盤地図情報の整備・更新に必要な測量成果の提供・更新のための事業を開始します。

(2) 各府県にあった地域連携の検討

7. 普及、啓発活動

「測量の日」関連の講演会、出前講座等の行事及び測量技術に関する講演会等を開催します。

実施報告等進捗状況

1. 近畿ブロック測量担当課長会議を開催

測量業務における地域の連携強化を目的として、管内の各府県の測量等を担当する部署で構成する測量担当課長会議を5月24日（月）に開催しました。

会議は、公共測量に関する事項、地理空間情報の活用（提供・利用）等の以下の議題について意見交換を行いました。

- ①測量技術の基準等に関する事項の紹介
- ②公共測量成果の品質確保の推進
- ③各府県測量担当者会議の開催について
- ④基盤地図情報の整備更新提供状況について
- ⑤基盤地図情報等に関する地域連携について

2. 「測量の日」記念講演会・

測量機器展示会・地図展を開催

「測量の日」である6月3日（木）に「測量の日」

記念講演会・測量機器展示会・地図展を大阪合同庁舎第4号館（大阪市中央区）において、国土地理院近畿地方測量部、（社）大阪府測量設計業協会、大阪土地家屋調査士会の共催で開催しました。測量の重要性の理解や測量への関心及び地図の親しみをより一層高めることを目的として毎年開催しているもので、今回で14回の開催となりました。

「測量の日」記念講演会は入場者数172人と盛況のなか、日本土地家屋調査士会連合会の小野伸秋常務理事に「土地家屋調査士の新たな市場」を、豊中市土木部道路管理課の石井康介氏に「新技術MMSを用いた道路台帳平面図更新業務—豊中市MMS測量作業マニュアル—」と題した2課題について講演しました。

また、同時開催した測量機器展示会・地図展にも多くの見学者があり、今年は大阪市立中大江小学校の5年生44人が課外授業として訪れました。地球儀と地図を使った地図と測量の勉強と、展示された測量器械に触れたり、日本列島一筆書きにも挑戦し、学校周辺の古い空中写真やガリバー体験など様々な地図にも興味を示していました。



測量機器展示会・地図展（日本列島一筆書きに挑戦）

3. 平成22年度測量の日における

功労者感謝状を贈呈

測量・地図に対する国民の一層の理解と関心

を高めることを目的とし、平成元年度から、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった団体又は個人に対し、国土地理院長が感謝状を贈呈しています。

平成 22 年度は近畿地区の次の二つの団体に感謝状が贈られました。

◆あこう絵マップコンクール実行委員会

【代表：江端益子氏】

子供たちが自分たちの住むまち「赤穂」を探検し、まちなみや歴史を調べ、その感性や創意工夫を生かした絵マップを作ることを通じて、子供も大人も「赤穂」の魅力を再発見し、郷土愛を育成し、まちづくり意識を醸成することを目的として、平成 15 年から毎年「あこう絵マップコンクール」を開催しており、地理・地図教育の発展に大きく寄与していることから受賞されました。

◆神戸市小学校教育研究会社会科部

【代表：増田進司氏】

神戸市内の小学生を対象に、各学年の学習能力に応じ、身の回りの社会事象を歴史的、地理的、環境的視点などから考察し、多様な発想で表現することで社会科への興味関心を高めることを目的として、平成 14 年から毎年「神戸市小学校社会科作品展」を開催しており、地理・地図教育の発展に大きく寄与していることから受賞されました。

4. 測量の発注状況等

近畿地方測量部では、平成 21 年度から指名競争に参加を希望する者の企業評価の項目として地域貢献の実績を設け、入札説明書には必要とする書類及び評価基準を記載しています。平成 22 年度は、教育機関に対する体験学習の実績に加え、災害協定等に基づく業務の実績を評価す

ることとしています。

平成 22 年度の近畿地方測量部にける測量作業発注状況及び発注見通しについては、表のとおりです。

国土調査関連業務については、改正国土交通省令等の施行後に作業を実施することになりますので、発注手続きは 8 月ころを予定しています。また、地籍調査の一層の促進を図るため、基準点測量作業規程準則の適用範囲が現行の三角点に加え補助基準点へと拡大され、このため、補助基準点を 200m ～ 500m のピッチで設置する測量作業が始まります。しかし、今のところ詳細についてはこの事業を実施する本省国土調査課において調整中です（6 月末現在）。

表：測量作業発注状況及び発注見通し

業 務 名	作業量	発注時期
精密測地網測量 電子基準点現地調査 近畿 1 地区	22 点	終了しました
位置情報基盤整備 基準点現況調査 兵庫県西部地区	50 点	終了しました
国土調査基準点測量（9 物件）	109 点	8 月ころ予定
京都府向日地区他 4 地区	12 点	
兵庫県豊岡地区他 1 地区	13 点	
兵庫県朝来地区	19 点	
兵庫県淡路地区他 5 地区	13 点	
和歌山県紀の川地区他 4 地区	10 点	
和歌山県御坊地区他 2 地区	8 点	
和歌山県田辺地区他 2 地区	8 点	
和歌山県すさみ地区他 2 地区	12 点	8 月ころ予定
成果不整合地域における基準点改測	14 点	